

問 駅周辺の環境設備と 無電柱化は

答 年度内に家屋等の撤去作業を行う

問 駅西広場は、懸案中の懸案であり、残り1軒となった物件移転については契約が成立したが、その後の進展はどうなっているか。また、駅西の無電柱化はどのように考えているか。

答 駅西の駅前広場再整備は、3期に分けて進めており、昨年度は第1期として、ロータリー、周辺歩道、大型バスの待機スペース、植栽等の設置が完了した。残り1軒の物件移転の進捗として、年度内に家屋及び付帯施設の撤去作業等が行われる予定である。村としては、



新政とうかい
舩井 文夫 議員



現在の東海駅西口広場

国体も迫っているため、一日も早く整地工事に着手できるよう努力していく。無電柱化については、都市災害の防止、快適な通行空間等を目的としたまちづくりの重要な施策であるが、道路の占用状況や多額の整備費用などの課題があり、現段階では難しいと考えている。

問 駅西地区画整理事業の終結について伺う。

答 駅西地区については、いろいろ懸案を抱えてきたが、来年の国体に向けて、できるところまで整備を進めていく。

問 民間ブロック塀の 安全確認が必要

答 建築士会などと派遣を協議する

問 村は、防災と減災の視点から、地震に備えて、民間のブロック塀の安全対策に取り組むべき。撤去・改修費用の助成とブロック塀診断士の現地派遣ができないか、伺う。

答 全国の201市町村で、民間所有のブロック塀の撤去費等に対して、補助制度が創設されている。その一方、茨城県には補助制度を創設している市町村はない。村では、東日本大震災の教訓を生かしたまちづくり推進プロジェクトの中で、災害に強いまちづくり



公明党
岡崎 悟 議員



安全確認はお済みですか？

を目指した取り組みのひとつとして、地震発生時に塀の倒壊による道路閉塞を防ぐため、生垣設置補助事業を利用した、ブロック塀等の撤去を推進してきた。ブロック塀診断士の派遣については、木造耐震診断派遣を行っている建築士会などと派遣の可能性について協議し、防災の観点からブロック塀の点検をしていただけるよう働きかけたい。